

# 長岡京未来の会

今回の12月議会では、総額で約20億円の一般会計補正予算などを審議しました。

そんな中、約21年前のJR長岡京駅西口再開発（総事業費約210億円）と同じく、大規模な開発となる「阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 西地区整備計画（素案）」が議会に提出されました。この計画は、高架化事業と切り離れた形で、駅の西側を整備する計画案にな

っています。まだ総事業費などは発表されていませんが、行う場合、市の財政状況や将来像を大きく変えるため、事業規模や内容等について注視が必要で

今年度は、第3期長岡京市子ども・子育て支援事業計画の策定中ですが、新たな取り組みとして子ども・若者本人のアンケートが反映されず。さらに子育てしやすいまちになることをめざして、会派としても引き続き子育て支援の充実に向けて取り組んでいきたいと思えます。

小谷宗太郎・川口良江

# 長岡京黎明の会

令和六年第四回議会（十二月）定例会では、慎重審査の結果、上程された全ての議案が可決されました。主な内容として、

- ・一般会計等の補正予算
- ・公の施設の指定管理者の指定
- ・市道の認定及び路線の変更
- ・各種条例の一部改正：等。

一般質問では『青少年の健全育成』について質問をいたしました。『青少年の健全育成』は、本市のまちづくりにおいても欠

かせない取組であり、各団体の主体性や意思決定を尊重しながら、必要な活動が継続されるように、適切に団体への支援を行うていく旨の答弁を得ました。本紙に内容の一部が掲載されておりますので是非ともご一読ください。

議会改革特別委員会では、オンライン委員会の環境整備について協議を進めました。

これからも、安心・安全で住んでいて良かったと実感できる長岡京市を目指して参ります。

富岡浩史・中村亮太



## 意見の派の会

文責は各会派にあります。

# 日本共産党

市民生活に寄り添う予算を

12月、紙の保険証新規発行が廃止に。党議員団は「無保険状態をゼロに」と求めてきました。世論の高まりで、マイナ保険証のない人に、紙の保険証と同様に使える「資格確認書」が長岡京市でも申請なしで発行されることに。将来の更新時も申請不要です。引き続き、紙の保険証復活を求めます。

長引く物価高騰で市民生活に

厳しさが増す中、「受益者負担」のメッセージだけでよいのでしょうか？「市民生活に寄り添う予算を」と給食費負担軽減、水道料金減免、灯油代助成などを求めましたが、市が進めたことは、学校グラウンドの利用有料化など、市民の負担増です。

一方、馬場橋に人道橋等の検討、図書館3階に自習室などのスペース設置表明、保育士の配置基準の改善など、これまで求めてきた政策が前に進みました。市民の声を届け、政策実現へ一層頑張る決意です。（中）

# 輝（かがやき）

令和6年12月定例会では、小学校体育館空調設備の新設工事事業、阪急長岡天神駅東側の駐輪場、暫定ロータリー整備など、約20・1億円を追加し歳出歳入総額を395・0億円とする一般会計補正予算が可決されました。

一般質問では、大伴壱からは防災施策について3点、公園について2点、学校設備について2点、多胎妊娠支援について、

富田達也からはデジタルプラットフォームの活用について6点、室内で遊べる環境整備について3点、干場志都恵からは介護予防・日常生活支援総合事業について2点、健幸すぽっとのびのび苑について、市民活動サポートセンターについて3点、観光戦略について2点、図書館について市政に提言しました。会派輝は皆さまから頂いた気づきを市政に反映する会派として住民

目線の活動を続けて参ります。  
富田達也・進藤裕之・大伴壱  
宮小路康文・干場志都恵

# 公明党

防災・減災対策の強化と希望と

活力ある市の構築を目指して

公明党は、令和六年十二月議会定例会に議案が提出された内容を慎重に議論を重ねた結果、全ての議案に賛成致しました。

十二月議会では、石井は「ヤングケアラー」「軽度認知症の早期発見」「HPVワクチン接種」、福島は「自治会等の地域活動の支援」「恵解山通りにおける児童の安全対策」のテーマ

で、一般質問を致しました。

令和七年度は、第四次総合計画第二期基本計画後期実施計画の最終年度であり、第三期基本計画策定に向け、諸課題を見据えた政策を実施し、市民が安心して暮らせるように努めます。

公明党は「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義を貫き人間・人類の幸福追求を目的とする開かれた政党」であり、「大衆と共に」の立党精神のもと生活者に寄り添い生活者の視点で歩み続け一番身近な議員として活動を展開して参ります。

## 平成西山クラブ

「こども家庭センター設置へ」

少子化や核家族化が進み、子育て世帯を取り巻く環境が大きく変化する中、児童虐待の増加など、深刻な問題も顕在化しています。このような状況に対応するため、従来の支援体制を見直す必要があるのでは、との十二月議会上村議員の一般質問において、これまでの母子保健業務担当の健康づくり推進課と児童福祉業務を担う子育て支援課

の一体的な運用を実現するため、その機能を集約化し、令和七年四月より、新たな組織「こども家庭センター」を設置したいとの答弁を得ました。より包括的なサポート体制を構築することにより、例えば出産時には各種手当の受付を行うことに加え、子どもに係る福祉的な相談も継続的にワンストップで対応できるようにになります。

親達の孤立、子ども達の苦難が見過ごされないよう、新体制に期待したいと思います。

上村真造・白石多津子

## 平成自民クラブ

阪急長岡天神駅東側の駐輪場と暫定ロータリー用地購入費、長法寺小・五小・八小・九小の体育館空調設備の新設工事を計上した補正予算、学校開放事業における体育館空調設備や運動場使用料の条例改正案などに賛成しました。また、私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願に賛成し採択されました。米の安定供給および持続可能な米生産への対策を求める意見

書に対し、私達は反対しました。実際、8月に家庭用米の在庫が一時的に無くなりましたが、過度に心配する事は無いとの判断、また、本市米生産では毎年地域農業再生協議会で議論し、水稻作付けを決めているところです。

一方、地域福祉のとりこぼさない支援について質し、今後本市直営で、保健師・社会福祉士・教職経験者を配置し、取り組むとの答弁を得ました。

今後市民が安心して暮らせるよう取り組んで参ります。

八木浩・中小路貴司

## 平成同志クラブ

12月議会では、「公共施設の再編計画」や「旧開田保育所跡地と新庁舎のにぎわい施設の検討状況について」質問しました。

現在進めている調査を基に、来年度には事業者募集を行い、具体的な活用案を示したいとの答弁でした。「にぎわい創出」とは、単に人々を集めること以上に、地域やコミュニティに新たな活気を生み出す力や、住む人々がまちに誇りを感じると

もに若い人のチャレンジの場でもあり、いかにまちの魅力を発信しているかが重要なポイントだと考えています。

行政のスピードで柔軟な対応による連携や相乗効果などを促し、企業や人を選んでもらえるよう、まちを挙げて取り組むことが不可欠です。それにより得られる活力を、子育て支援や健康長寿の実現などに生かし、市民一人一人の暮らしに寄り添ったまちづくりへ繋げていくものだと考えています。

田村直義・三木常照

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは12月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。